

芽室町社会福祉協議会は、地域福祉事業と介護保険事業が一体となり、「支えたり」「支えられたりする」地域共生型のめむろの実現を目指します。

総務課、地域福祉課、生活相談課、介護事業課で構成されています。

訪問介護事業所 (ホームヘルパー) ☎29-1192
 居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) ☎29-1193
 小規模多機能型居宅介護事務所 ふたば ☎66-9009



メムちゃん フクくん

めむろ

社協だより

No.450

令和6年9月号



「社協」とは、社会福祉協議会の略称です。
 〒082-0014
 北海道河西郡芽室町東4条4丁目5番地
 芽室町保健福祉センター (あいあい21)
 ☎62-1616 ☎62-1657
 芽室町社会福祉協議会公式HP
<http://www.memuro-syakyo.jp/>

10月1日スタート 赤い羽根共同募金運動



支える人も 支える募金



じぶんの町に、困っている人がいる。その人たちが一番必要としているもの、それは人のチカラです。手をとり、支えてくれる人の存在です。では、その活動資金は、どうしましょう。赤い羽根共同募金は、困っている人を支える人を支える募金。それが、赤い羽根の役割なのです。

赤い羽根共同募金



『ふれあい広場2024』を開催します

とき 9月29日(日)午前11時〜午後2時まで
ところ 芽室町保健福祉センター(あいあい21) 前駐車場

主催 芽室町社会福祉協議会

内容 ステージ部門では、久しぶりの「つばきバンド」によるオープニングステージを皮切りに、手話サークル「めむろ」による手話ソング、毎年好評の「ゆりずむ」の素敵な演奏もあります。また、十勝出身のパフォーマー「がつしー」も出演し、来場された皆さんを笑顔にしてくれます。
屋台部門では、やきとり、焼きそば、フランクフルト、チョコバナナの販売。ポップコーンは無料です。
スマートボール、昔遊び体験、縁日もあります。
介護部門では、専門業者による最新の福祉用具の展示及び体験会も開催します。
※詳細は、チラシ等でお知らせします。



除雪サービス支援者募集

町内にお住いの65歳以上の高齢者または重度身体障がい者(1級・2級)の方のみの世帯で、町内に支援者がいないため、除雪の支援を受けることができない世帯を対象に、冬期間の緊急時における安全の確保と生活の利便性を図るため、玄関から公道までを除雪するサービスを行っています。

個人の除雪支援員もサービス提供者の対象になっていきます。登録を希望される方は、次にお問い合わせください。
関係係

老人クラブ交歓会を開催します

本事業は、老人クラブ会員相互の親睦と融和を図ることを目的に、過去56回の回数を数える歴史のあるイベントです。
詳細につきましては、後日、各老人クラブ宛にご案内いたします。

11月15日(金) 8時30分
場中央公民館 大ホール



有無縁仏供養法要を執り行いました

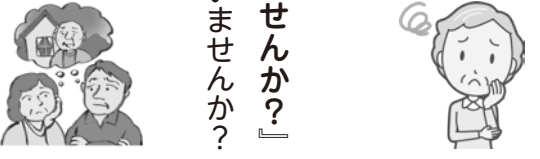
8月20日(火)に芽室仏教会のご協力と、関係者のご参列をいただき、執り行いました。手島町長(代理)、梶澤町議会議員、鈴木町議会副議長、中田厚生文化常任副委員長、社会福祉協議会役員などの関係者が芽室霊園内の供養塔、故人のご冥福をお祈りしました。



インフォメーション

心配ごと相談日程

心配なこと 不安なこと 気になること
まずは、「ご相談ください!」
『悩み続けるより、解決の糸口を見つけてみませんか?』
例えば、このようなことで困っていませんか?
▼これからの生活で不安
▼体調が悪くなり、片付けや掃除ができない
▼ひとり暮らしが不安
▼家庭・家計・仕事など
▼どこに相談してよいか分からないなど



9月25日水

専門相談員: 白銀孝志さん (人権擁護委員)
若狭富美子さん (人権擁護委員)

10月9日水

専門相談員: 栗栖尚子さん (行政相談委員)
稲垣輝幸さん (行政相談委員)

時間: 13時15分〜15時30分
場所: 保健福祉センター2階「静養室」

◎相談内容等、個人情報厳守します。
関生活相談係

なごみガーデン収穫

8月21日にふれあいサロン「なごみガーデン」で、草取り作業とスイートコーンの収穫を行いました。芽室町赤十字奉仕団(委員長: 佐藤得男さん)の活動で、毎年お世話していただいています。この後、じゃがいも・ゆり根の収穫が控えています。



ボランティアサマースクール

7月30日・8月6日の2日間、小・中・高生合わせて17名の参加がありました。手話サークルめむろの皆さんによる手話講座。その後、車イス・白杖を使って、実践的な体験を行いました。



シリーズ 社協の かいご語録 ep6

90歳を超えていらいやいますが、そろそろ退院です。退院後は、遠方の娘さんの猛烈な反対を押し切つてまで、一人暮らしの再開を熱烈希望! 要介護3の90代男性の一人暮らし... 家族が心配されるのも当然です。
しかし、一人でまだまだ頑張りたい気持ち。とても素晴らしいと思います。なんとかご家族の理解を得て、自宅に戻るための準備を考えてみましょう。

ひとり暮らしを応援したい

転倒しないように手すりの設置やデイサービスで入浴と運動。訪問看護で体調や服薬管理。受診も忘れないようにしないと。身の回りのことは在宅の要のヘルパーさん。環境を整え買い物や毎日の服薬確認。そして毎晩、配食サービスのお弁当。それ以外はSさんが無理しないようにご自身で。今まで通りゆっくりゆっくり動いて、近所のスーパーに行ったり、自分で煮物を作ったりできるかな。デイサービスの準備や、ハイヤーを頼んで受診もできるかな。
心配事は絶えませんが、ご本人の心が決まり、在宅の準備が整えばいざ退院です。ご家族はもちろん、様々な介護事業の皆さんで「ごちりとサポート体制を考え、二人で頑張りたい、自宅へ戻りたい」という気持ちをこれからも応援したいと思います。



特集

旬の人

みんなのひろば

たのしく子育て

ホットボイス

お知らせ

教育情報 だいちくん

社協だより

各種団体

広告